

豊橋市議選を振り返る(上)

厚い壁に新人8人挑む

定数36に42人がしのぎを削った豊橋市議会議員選挙。新人候補8人のうち6人が晴れて当選し、2人が無念の涙を流した。新人候補者たちの7日間の初めての選挙戦を追った。

■東大卒31歳

広小路に構えた選挙事務所は別名「秘密基地」。街宣カーの正面の看板は鏡文字。個人演説会場はライブハウス。

大方の予想を覆して堂々4167票を獲得して8位で当選

した長坂尚登氏。ライブハウスでの個人演説会に集まった約30人の支持者を前に彼は訴える。

「僕は必ず豊橋を変えます。誰もが自慢に思えるまちに。挑戦者を応援するまちに。そして何より、

あなたが自慢に思うまちに必ず変えていきます」。

「地域活性化伝道師」と赤で書かれたタスキを告示の日に

それぞれの「明日の豊橋」——それぞれの戦い

ら「長坂なおと」に変えたが、後ろの「東大卒31歳」は変えなかった。

た市民の期待はズシリと重い。

とができるのです」と選対幹部。

「姿勢が変われば市政が変わる」と訴え続けた近藤氏が何をどう変えていくのか見守りたい。

「5億円あれば国保税を加入世帯当たり1万円下げられま

投票日3日前から反応が変わってき

た。ポスターで、選

育館を埋めた多くの支持者の盛大な拍手で迎えられ、緑のシ

中心を担ってきた。

重来

挙公報で、「東大卒、31歳」が浸透し出したのだ。そして、4000票を超え、見事な新人トップ当選。

「皆さんNNKをご存知ですか。根本衆議院議員、丹羽県議会議員、そして近藤市会議員のNNKによって豊橋を、吉田方を交えていくこ

今回も校区から3人が立った激戦区。は近藤修司氏。

「4年前に皆様にあれだけ応援していただいたのに議席に届きませんでした。以来4年間、皆様に本当に支えていただきまし」と鈴木みさ子氏。

「法律事務所勤務で多くの生活相談に

反対する思いが込められていることを知ったからです。今回、立候補を決意するにあたって、93年の党の歩みに何かお役にたきたいと思ったからです」。

の学びが話に説得力を持たせていた。

中西氏は一つひとつの言葉をかみしめながら「丁寧」に話す。知名度不足が案じられたが、中位で堂々の当選。3議席に復活した共産党市議団に議案提案権も復活した。何を提案していくのか、注目したい。(地方政治クリエイト・伊藤秀昭)

■保育士35年

保育士として35年、民間の保育園で保育に携わってきた中西光江氏。

「党に入党した一番のきっかけは、私が好きな、いわさきちひろさんの描く絵には、侵略戦争に